



日曜議会は6月21日 一般質問は増税提案！

6月の議会は19日(金)と21日(日)

開成町議会恒例の「日曜議会」は6月21日に開催されます。先立つ19日金曜日が初日、で土曜日の休会を挟んでの開催です。

日曜議会に関して、昨年の本レポート7月号では「曲がり角日曜議会」の見出しを付けました。議員にとっては30分の一般質問は短く感じますが、傍聴者にはちょうどいいとのこと。この折り合いをどうつけるかが課題です。

また普段はあまり一般質問しない議員がこの時だけは全員登壇することで、今回のように選挙まで1年を切ったタイミングでは、現職の顔見せ興行と揶揄されるかもしれません。しかし、下手な質問をすれば評価は下がります。メリットだけでもありません。

テーマは増税提案

今回私の一般質問は「今後の開発事業・地域住民の将来不安軽減のため、都市計画税を導入する考えは」と題して増税提案をします。

先の衆院選では多くの政党が、「減税」を掲げました。党の綱領に「教育・医療・介護などのベーシックサービスを充実させ」

と書いた中道改革連合さえ、減税を掲げました。しかし、その代替財源は明確ではなく、歳入が減れば弱い立場の人への社会保障が切り捨てられる心配があります。

実際に公的医療保険の高額療養費制度について、政府は自己負担上限額を引き上げようとしています。この例に代表されるように、国による極少数の弱者切り捨てが懸念されます。

そこで、国が切り捨てるなら、その部分を開成町独自で支える仕組みをつくれませんかと考えました。その財源として増税を提案します。もちろん税金の多くは町が独自に税率を変えられるものではありません。しかし、現在徴収していない「都市計画税」を導入することは可能です。

試算によれば大体2億円前後の増収が見込めます。その用途は開発事業や公共インフラ整備などに限られますが、開成町は進行中の「駅前通り線周辺地区土地区画整理事業」以外にも、「足柄産業集積ビレッジ構想」や「南部第三地区」などの大きな開発事業を抱えますので、その財源に充てることができます。

同時に他の財源かそれらの整備事業に費やす予定だった分を浮かすことができるので、それを独自の保障の財源に活用します。市街化区域に発生する税が、全町民を対象にした事業に活用されることとなります。

増税は不幸ではない

国際的な「幸福度ランキング」2026年版で1位（9年連続！）のフィンランド、2位のデンマークは国民負担率が60%以上、3位のアイスランドは消費税が約25%です。この高い負担率が、医療や教育の無償化等の優れた社会保障を支えています。私も増税で分かち合える幸福を信じて質問します。

【都市計画税とは】

対象	市街化区域内にある土地と家屋。毎年1月1日時点の所有者が納税。
税率	最高で0.3%。自治体が条例で設定。
算定方法	固定資産税の課税標準額×税率
減免措置	200㎡（約60坪）以下の小規模住宅用地は1/3に軽減。200㎡超の宅地は2/3に軽減。
用途	道路、公園、下水道の整備や建設。土地区画整理事業の実施費用。市街地再開発事業の資金援助などに限定される。

金曜日の質問は高齢者の健康

19日の金曜日にも一般質問を行います。

「高齢者の健康をサポートする町の体制を問う」というテーマです。開成町の高齢化率は、26.8%と、県西地区平均33.5%より

は低いものの、県の平均上回っており、高齢化率は毎年確実に増加しています。

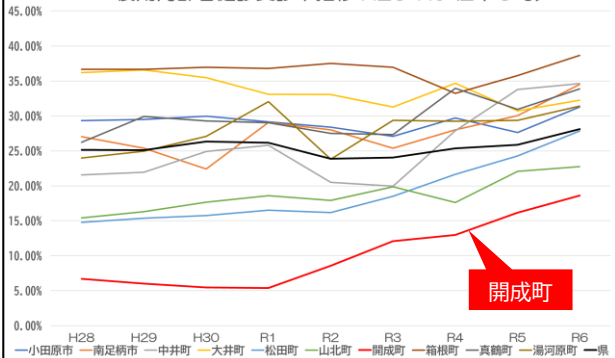
そして、後期高齢者の実質一人当たり医療費は県平均を約5万円（年額）ほど上回っています。一方で、病気の早期発見・医療費

抑制に寄与すると思われる後期高齢者健診の受診率は県西地区最下位です。

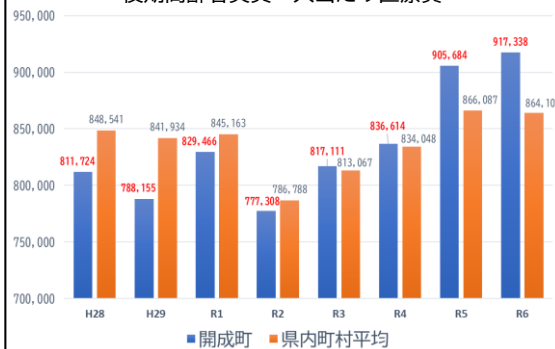
そこで健診の結果がもたらす財政的デメリットや、受診率を上げる施策、そうした事業を支える担当課のスタッフ体制につい

て、町の考えを問います。併せて、人生の終末期を自分らしく迎え、どんな医療を望むのかを共有する「ACP」（人生会議）、とそこに必要なSDM（協働意思決定）の普及活動に関して、開成町の現状と課題を確認していきます。

後期高齢者健診受診率推移 H28-R6 (2市8町)



後期高齢者実質一人当たり医療費



意義も異議もあり「市民に開かれた議会度」

「かながわ市民オンブズマン」による調査結果。開成町議会は14町村中12位という低い評価でした。その採点基準は「陳情の取り扱い」に重きを置いたものでした。しかし、それは現代にマッチしているか？ またそれをそのまま掲載した新聞社の姿勢には、さらに大いなる疑問符が付きます。

陳情に重点を置く旧態依然

5月6日の毎日新聞に「かながわ市民オンブズマン」が発表した「開かれた議会度ランキング」が掲載されました。この団体には私も縁があります。かつて県西地区全体を対象にしたオンブズマン組織が立ち上がった時の事務局長が私であり、県内のオンブズマンのまとめ役でもある「かながわ市民オンブズマン」の総会に資料を送ったり、オンラインで話したことがあります。そんな縁もあった団体の調査結果ですが、意義ある内容だと思う部分があれば、異議もあります。

まず、この調査が「陳情」※1の取り扱いに重きを置いているということ。陳情を出すにも書面をつくる必要があり、そのこと自体ハードルが高いです。小田原市など「議会報告会を開催してほしい」という陳情が出されました。その取り扱いがどうかより、そんな内容の陳情が出ないほうがよほど開かれた議会と言えます。開成町議会は住民と議員の距離も近いので、個別に受けた相談を議会で取り上げている事例もあります。よって、私が当選して36ヶ月間、町民からの陳情は1件もありません。また最下位になった山北町議会ですが、

2ヶ月に1度「おしゃべりCAFE」と称して議員と地域住民が交流する場をつくられています。我が開成町議会も日曜議会やその際の託児、小学校への出前授業や模擬議会など、町民との接点作りは意識しています。逆に「秘密会」※2を年に何度も開催していた議会が上位に入っているのも疑問です。一方で、常任委員会の中継や、会議録のホームページ上での公表などは、なされる前提で公開のタイミングについて訊かれています。どちらも公開していない開成町議会としてはしっかりと受け止めるべき指摘だと思います。

また、委員会資料を見ながらネット中継を視聴できるかという設問もありました。町村議会は予算も限られ、中継用のカメラも本会議場にしかなく、委員会を開催する部屋には設置されていないこともあります。事務局員も2～3名で、12～14名の議員に対応します。議員86名に対して議会局員が56名いる横浜市と同じような対応は無理ですが、こうして点に配慮はされていません。

三流雑誌のこたつ記事のような新聞報道

5/14には神奈川新聞にもこの調査を基にした記事が載りました。ある視点での調査結果ではありますが、そういった内容を新聞

社が査読した様子もなく、この順位に沿った記事を掲載したことは大変遺憾です。

※1. 陳情（ちんじょう）とは、国や議会などに対して、意見や要望を伝えること。憲法で権利の保障された「請願」と異なり、議員に陳情書のコピー配布で終わることもあります。
 ※2. 公開が原則の本会議や委員会を、プライバシーの保護などを理由に、非公開で行うこと。出席議員の2/3以上の賛成で開催できる。

【開かれた議会度ランキング】 (かながわ市民オンブズマンのHPより)

県市議会			町村議会		
順位	議会名	点数	順位	議会名	点数
1	茅ヶ崎市	88	1	寒川町	88
2	横須賀市	80	2	葉山町	74
3	相模原市	77	3	二宮町	73
4	藤沢市	76	4	大井町	71
5	南足柄市	75	5	箱根町	62
5	小田原市	75	6	湯河原町	58
7	大和市	71	7	愛川町	56
8	秦野市	70	8	清川村	55
9	伊勢原市	64	9	大磯町	49
10	神奈川県	63	10	中井町	48
11	海老名市	59	10	松田町	48
12	川崎市	56	12	開成町	47
13	三浦市	54	13	真鶴町	47
14	鎌倉市	50	14	山北町	40
15	横浜市	47			
16	座間市	45			
17	綾瀬市	44			
18	厚木市	38			
19	逗子市	32			
20	平塚市	29			

かながわ市民オンブズマンの資料全体はこちらのQRコードからどうぞ。



表彰もされました！

かながわ市民オンブズマンからの評価は散々だった開成町議会ですが、ちゃんと表彰もされました！
 全国町村議会議長会による「令和7年度町村議会表彰」を受けたもので、5年連続となります。表彰理由は「政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会」「住民に開かれた議会」という2点です。町民フェスタに参加してブースを展開し、町民との接点を広げたことや、小学生の模擬議会の開催のほか、議員のなり手不足解消への



ギカイだより228号に掲載された画像です。

取り組みが評価されたものです。5年連続はたいへん稀なものとのこと。
 「開成町議会 表彰」で検索すると「タウンニュース」の記事や、町ホームページの詳細な授賞理由が載ったページもご覧いただけます！

4月の主な日程

2日	会議打ち合わせ
9日	ベーシックサービス推進地方議員連盟発足総会
14日	総務経済常任委員会
15日	会議打ち合わせ
16日	全員協議会
18日	前参議院議員水野もと子主催交流会
19日	ゆめクラブ総会
20日	議長・座長打合せ
22日	前衆議院議員佐々木ナオミ主催勉強会
23日	議会（全員で会議）
27日	事務局等打ち合わせ

ご意見・ご感想をお待ちしています
 090 - 2259 - 4785
sumio.yamashita2847@gmail.com

広告募集中
 2/9ページ2,000円
 詳細は問い合わせを

山下 すみお
 ホームページ



後援会
 申込み

